

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業
(無停電電源設備) 入札仕様書

1 件名

令和 7 年度宮古テレビケーブルテレビネットワーク耐災害性強化事業 (無停電電源設備)

2 目的

宮古テレビ株式会社 (以下、「当社」という。) は、宮古地区のケーブルテレビネットワークの耐災害性強化及び高精細度映像の視聴環境の構築を目的とした各種設備工事を実施する。

本仕様書は、宮古島市広域情報センター局舎 (以下、「宮古局」という。) に設置された無停電電源装置 (以下、「UPS」という。) を撤去し、新たな UPS を設置するための仕様及び付帯業務について規定するものである。

3 業務範囲

(1) プロジェクト管理

UPS の調達から設置を円滑に遂行するための進捗管理、コミュニケーション管理、品質管理及び安全管理を行う。

(2) UPSの調達、設置

UPS の調達及び周辺機器等を含めて据付に必要な一連の作業を実施する。機器の調達 (輸送を含む)、搬入、据付、配線、調整及び試験等の一切の作業を含むものとする。整備する UPS の詳細は、別紙「無停電電源装置 (UPS) 調達仕様」に示す。

(3) 既設UPSの撤去、廃棄

本業務で設置する UPS は、指定された既設の UPS を撤去して据え付ける必要があり、撤去された UPS を搬出、運搬、廃棄を含めて処理を行う。また、廃棄についてはマニフェストを提出すること。

(4) 完成図書の作成

本業務内で実施した内容及び指定された資料、図面等を添え、完成図書として提出すること。完成図書は、印刷物及び電子媒体で各 1 部を提出すること。

4 工期

契約締結の日から令和 8 年 3 月 31 日

5 納入場所

当社宮古局 3 F センター機器室内

(指定された既設 UPS が設置されている場所内又は同じ場所に設置すること)

6 契約不適合責任

- (1) 受注者は、本仕様書に基づき納入した成果物（以下、「本件成果物」という。）が、種類、品質（性能を含む）、数量に関して契約の内容に適合しない場合（以下、「契約不適合」という。）、契約不適合責任を負うものとする。
- (2) 当社は、本件成果物の引き渡しを受けてから1年以内に、本件成果物に契約不適合があることを発見した場合、受注者に対し、追完（修補、代替物の引き渡し、不足分の引き渡しなど）を請求することができる。この場合、受注者は、当社の指定する期間内に速やかに自己の費用と責任において追完を行わなければならない。
但し、受注者が契約不適合を知りながら告げなかった場合は、この期間の適用はないものとする。
- (3) 前項の追完請求にもかかわらず、受注者が相当の期間内に追完を行わない場合、または追完が不可能な場合、当社は、契約不適合の程度に応じた代金の減額を請求することができる。
- (4) 当社は、本件成果物の契約不適合により損害を被った場合、受注者に対し、その損害の賠償を請求することができる。ただし、受注者の責めに帰することができない事由により契約不適合が生じた場合は、この限りではない。

7 受注者の義務

- (1) 本仕様書及び当社の指示、指導に基づき業務を忠実かつ確実に履行すること。
- (2) 本業務一切の重要性を十分理解し、安定した運用を維持継続するため、入札時に提示した UPS を調達、設置すること。
- (3) 調達した UPS については、「5 納入場所」に示す場所において、本仕様書で定める機能を十分発揮するよう設置・調整を行うこと。
- (4) UPS に伴う災害及び公害の防止は、関係法令などに従い適切な処置を行うものとし、災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置を取り直ちにその経緯を当社に報告すること。
- (5) 受注者は、業務上の知り得た情報を契約履行期間中か否かに関わらず、第三者に開示したり、漏えいしたりしてはならない。
- (6) 本業務に先立ち、工程表を作成し、これら資料を基に発注者と協議のうえ、作業日程等を決定すること。また、当社と定期的に工程会議を実施し、その議事録を作成して提出すること。
- (7) 本業務完了後においても、補助金の実績報告書作成等で当社が必要とする書類等の作成・提出を求められた場合は、速やかにそれに協力すること。

8 仕様書の解釈及び疑義

本仕様書の内容に疑義が生じたときには、入札参加者は入札説明書別記3の照会先に電話またはメールで確認すること。

別紙

無停電電源装置（UPS）調達仕様

1 調達設備

無停電電源設備（UPS）	1 台
--------------	-----

2 基本仕様

定格出力容量	25kVA/20kW
--------	------------

方式

運転方式	商用同期形常時インバータ給電
------	----------------

冷却方式	強制空冷
------	------

交流入力

相数・線数	三相 3 線
-------	--------

定格電圧	200/210/220V（交流出力と同じ）
------	-----------------------

電圧変動範囲	±15%以内
--------	--------

定格周波数	50/60Hz
-------	---------

周波数変動範囲	±10%以内
---------	--------

電流歪率	10%以下（定格運転時）
------	--------------

入力力率	0.98 以上（定格運転時）
------	----------------

入力容量	24.8kVA
------	---------

交流出力

相数・線数	三相 3 線
-------	--------

定格電圧	200V
------	------

電圧精度	±2%以内（交流入力運転時）
------	----------------

定格周波数	50/60Hz（交流入力と同じ）
-------	------------------

周波数精度	±0.5%以内（自走発振時）
-------	----------------

電圧ひずみ率

線形負荷時	2%以内（入力定格運転時）
-------	---------------

整流器負荷時	5%以内（入力定格運転時、100%整流器負荷時）
--------	--------------------------

負荷力率

定格	0.8（遅れ）
----	---------

変動範囲	0.7～1.0（遅れ）
------	-------------

騒音	55dB 以下（装置正面 1m A 特性（線形負荷時））
----	------------------------------

発生熱量	2.0kW（充電完了後、定格運転時）
蓄電池	
種類	小型制御弁式鉛蓄電池
定格容量	36Ah
放電時間	8 分（周囲温度 25℃、負荷力率 0.8、保守率 1.0）
公称電圧	216V
寸法	1200mm（W）×700 mm（D）×1650 mm（H）以内 （既設 UPS 設置範囲以内）
質量	1220kg 以下 （既設 UPS 質量以内）

3 設置作業

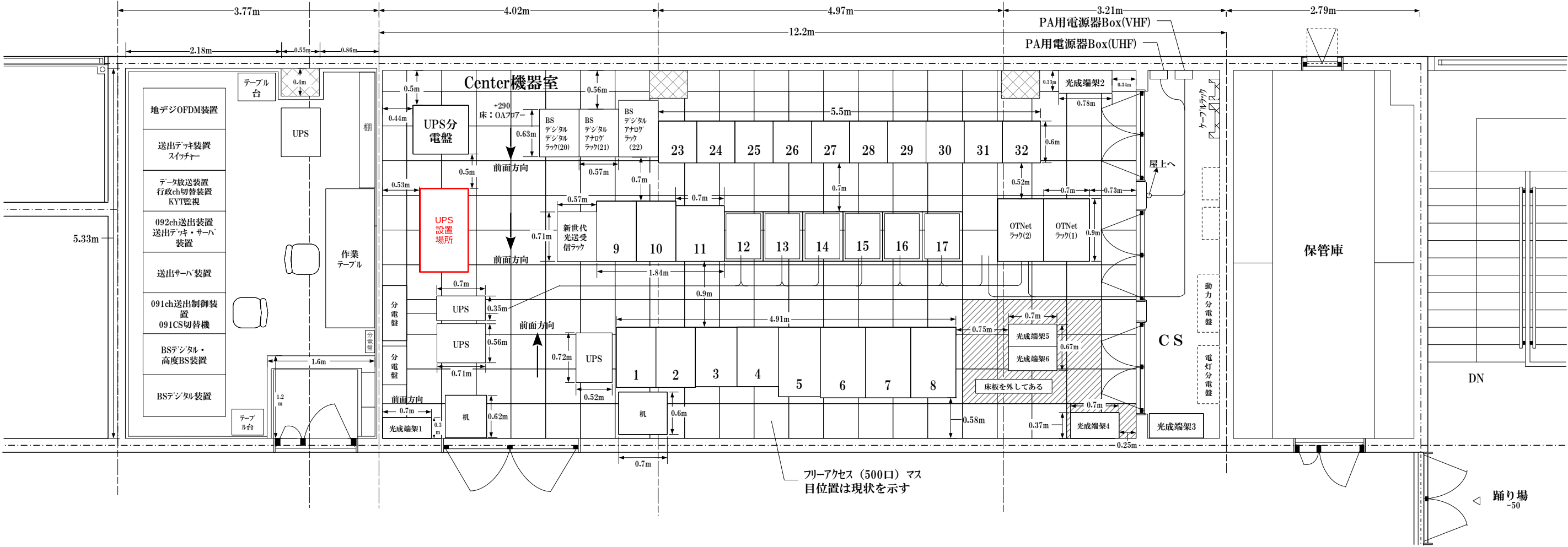
- （１）既設 UPS（全部または一部）を移設し、既設 UPS が設置されていた場所の範囲内に新設 UPS を設置すること。
- （２）UPS 設置、移設等に関する工事期間中は、UPS 負荷に対する電源供給を無瞬断で実施すること。作業期間中に停電が発生する可能性があることも考慮し、当社と協議して施工方法を十分検討すること。
- （３）UPS 本体の耐震性の確保について十分な検討を行いアンカーボルトの選定、施工を実施すること。

4 完成図書作成

完成図書を作成し提出すること。

- 設置平面図
- 装置系統図
- 装置実装図
- 設備納入仕様書（機器仕様書、説明書等）
- 施工写真（総務省提出用）
- 試験成績表
- その他必要な書類

以上



	作成：平成14年 12月11日 改定：令和 5年 1月 5日	件名	
	宮古テレビ株式会社	図名	広域情報センター 3F センター機器室 フロアレイアウト図